

キャンパス点描

お茶大インフォメーション・プラザがオープン!

お茶の水女子大学では、附属学校を含めた大学全体の広報を推進するために、正門横に「お茶大インフォメーション・プラザ」を設置しました。東日本大震災の影響で延期されていましたが、前学期授業最終日の7月13日(水)にオープン記念イベントを開催し、400人以上の方にご来場いただきました。

イベント運営に協力した学生団体「がん茶」(がんばれ、東日本!がんばれ、お茶大!)のメンバーからのレポートです。

「正門のすぐそばの、ほら、守衛室の横のきれいな場所。あそこになんかやつ。」

この説明なしにインフォメーション・プラザを語ることはできない。何しろインフォメーション・プラザの認知度は驚くほど低い。「何か工事しているのは知っていたけど…」「そう言えば最近あの辺きれいな場所になったよね」だいたいの方はこんな反応をする。斯く言う私も何のための施設なのかということはおろか、その存在すら最近まで知らなかった。

7月13日、そんなインフォメーション・プラザに遂にスポットライトが当たった。いつもは閑散としているあの広場に、今日はテントやのほろが立ち、何と人がたくさんいるではないか!

この日行われていたのはインフォメーション・プラザのオープン記念イベント。東日本大震災チャリティーセールとして、お茶大グッズ、福島県産玉ねぎのスイーツなどが販売された。広場にはテーブルや椅子も用意され、飲み物を飲みながら憩う学生や教職員の姿が見られた。実はこの広場とインフォメーション・プラザは、学外の方にも開かれた場所である。附属学校園を含めた大学全体の情報がここに行けば手に入るという、いわばお茶大の窓口なのだ。

まだ行ったことのない人のために、プラザ内部を少しご紹介しておこう。足を踏み入れるとまず目に入るのは、きれいに並べ



られたパンフレットの数々。インフォメーション・プラザという名の通り、附属幼稚園・いずみナーサリーからお茶大大学院までの全ての案内をここで手に入れることができる。壁にはお茶大の日常風景を写した写真が飾られている。モノクロだといつもの景色が数割増して素敵に見えるから不思議だ。さらに、プラザの一角には今や定番となった新お茶大グッズが展示されている。学内の方にも是非チェックしてもらいたいところである。

しかし、このプラザは何もインフォメーションをもらいに行くだけの場所ではない。使い方によっては、インフォメーションを自ら発信することもできるのである。今回のイベントにも花を添えた福島県産玉ねぎのスイーツは、元は学内の震災復興支援団体「がん茶」と食に関するサークルOchasの活動から生まれたものである。イベント当日もがん茶とOchasから学生ボランティアが参加し、スイーツの販売を行った。風評被害について多くの人に考えてもらいたい、という学生からのインフォメーションが伝わったのではないだろうか。

インフォメーション・プラザはもちろん大学全体の広報の窓口ではあるが、せっかくできたこの広場を学内生が利用しない手はないだろう。今はまだまだ存在感の薄いインフォメーション・プラザだが、お茶大生が学内外に様々なメッセージを発信できる場となれば、多くの人にとって、より価値のある場所になるに違いない。

文責: 植村奏水(学生団体「がん茶」、文教育学部3年)



芸術・表現行動学科舞踊教育学コース「特別賞」受賞



8月7日(日)～10日(水)に開催された第24回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)大学創作コンクール部門において、お茶の水女子大学芸術・表現行動学科舞踊教育学コースの作品「人間の土地ーサン＝テグジュベリが見た世界ー」が、すぐれた動きのテクニックに対して贈られる特別賞を受賞しました。そして、受賞作品の上演が行われた特別プログラムを中心に、ダンスフェスティバルの様子は、8月21日(日)16:00～17:00にNHKEテレで放送されました。この大会は創作ダンスの全国大会で、部門としては舞踊家



や舞踊評論家、舞踊研究者をはじめとした審査員による審査を行う「創作コンクール部門」、創作ダンスというジャンルにこだわらず、HIPHOPや民族舞踊など、さまざまなダンスで参加することができる「参加発表部門」の2部門があります。

舞踊教育学コースでは毎年このコンクールに向け、4月から3ヶ月間かけて作品に取り組んでいます。コンクールでは作品のテーマ性、独創性、動きのテクニック、表現力などが問われます。今年は、4月から5月は踊るための身体づくりをしました。6月は作品の中核となるテーマや方向性を明確にしました。7月はテーマにふさわしい作品の構成と展開を目指して完成度を高め、8月の本番に臨みました。1年生から4年生までの有志20数名で、ともに作品を深く追求することには難しさもあります。しかしながら、異なる学年で切磋琢磨し、チームとして一丸となり活動する醍醐味があり、どの学年にとっても作品創作を実践的に学ぶ大変恵まれた機会になっています。

(舞踊教育学コース3年 大熊さとみ)

春の叙勲受章者(本学関係)について

平成23年春の叙勲受章者が発表されました。本学関係の受章者は、次の方々です。

瑞宝中綬章

酒本 雅之

清水 碩

お茶の水女子大学名誉教授

お茶の水女子大学名誉教授

瑞宝小綬章

中山 淑廣

元お茶の水女子大学事務局長